



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 10. 5

No. 20

## 言葉で表現する力をつけるために

前回の学校報でお伝えしたように、学習面での本校の課題の一つに、「書くこと」があります。「自分の考えをまとめて書く。」「文章全体の構成を考えて書く。」「内容の中心を明確にして詳しく書く。」「自分の考えが伝わるように工夫して書く。」といった力が「書く」ことには求められます。

本校では、「書く力」をつけるために、次のような取り組みを行っています。

- (1) 教科の授業 授業の最後には1時間の授業の感想や意見を「振り返り」としてまとめています。短い文章であっても、自分の考えをまとめることは大切です。
- (2) 行事の振り返り 大きな行事が終わった後には、感想を書かせたり、自分達の取組がどうであったかを文章で表現させたりしています。
- (3) 日記の取組 家庭学習の一つとして、日記を毎日書くように進めています。上学年は継続することで、内容を詳しく書けるようになったり、自分の考えを中心にまとめられるようになったりしてきています。

### 理科研究発表会で育つ力

9月25日(火)、西仙北小学校を会場に「大曲仙北理科研究発表会」が行われました。六郷小学校は、昨年の参加が2題であったのが、今回は7題の参加がありました。

(今回の参加者と研究テーマ)

- ① 4年生 「りんごのへん色について調べよう」 「氷のとけ方」  
「清水川って、どんな清水？」
- ② 5年生 「ペットボトルロケットをより遠くに飛ばすためには」  
「身近な食べ物にデンプンはある？」 「色によって温度はどのように変わるの？」
- ③ 6年生 「地震の強い家の仕組」



上記の写真は、発表会当日の様子です。たくさんの人の前で発表するために、大きな声でしっかり聞こえるようにと、これまで何回も練習してきたことと思います。その成果が出て、どの子も堂々とした発表でした。研究を進めることも大変ですが、その結果を資料にまとめることも時間のかかる作業です。理科研究発表の体験を通して、子ども達は、「文章で表現する力」「言葉で伝える力」が身についたと思います。そして、たくさんの人の前で発表できたという満足感は、これからの大きな自信となります。こういった経験をさせることも、とても大事であると再認識した発表会でした。

# 美郷町自由研究コンテスト

今回もたくさんの方が出品してくれました。このコンテストに出品することも、理科学研究と同様に、大きな価値があることです。理科や社会の研究は、チャートにまとめるなどの規制がありますが、自由研究コンテストは規制がありません。ノートにまとめたり、画用紙を使ってとじたり、様々な方法が選べます。

各学年の最優秀賞・優秀賞に輝いた子どもさんを紹介します。

- (1・2年の部) 優秀賞： 「きゅうりとなすのかんさつにつき」
- (3・4年の部) 優秀賞： 「2018年 天体観測」
- (5・6年の部) 最優秀賞： 「給食について」
- 最優秀賞： 「ボクのゆで卵」
- 優秀賞： 「ホウ砂なしでスライムを作る方法」

## 快晴のもと、元気いっぱいの「マラソン」とおいしい「なべっこ」

4日(木)には、楽しみにしていたマラソンとなべっこが行われました。天気にも恵まれて、雲一つない快晴のもとで行うことができました。保護者の方や家族の皆さんがたくさん応援に来てくださって、子ども達は張り切って走りました。一人ひとりに「がんばれ！」と声をかけてくださる方もいて、本当にありがたかったです。

走るのが得意な子もいれば、苦手な子もいます。マラソンの順位は目標の一つとして重要ではありますが、大事なことは、苦しくなった時にあきらめずにがんばれたかです。そのがんばりが出せれば、いろいろな苦しい場面でも自分の力で乗り越えられると思うからです。



なべっこは、今年初めて「焼きいも」に挑戦しました。畑で育てたサツマイモが予想以上に豊作で、そのサツマイモを使って焼き芋にしたのです。何せ初めてなので、子ども達もなかなか苦戦していました。中には、中が固くて食べられない班もありましたが、大半の班は、秋の味覚を堪能できました。

